



Tools for data recovery experts

The HddSurgery™ プラッタ保管ツールガイド

- ***HDDS Platter Stand Tool***

目次:

| | |
|--|----------------|
| 1. はじめに | page 3 |
| 2. HddSurgery™ Platter Stand Tool | page 4 |
| 2.1 概要 | page 4 |
| 2.2 パーツ構成 | page 6 |
| 3. ツールの組み立て | page 7 |
| 3.1 ツールを取り出す | page 7 |
| 3.2 ツールを組み立てる | page 7 |
| 4. ツールの使用 | page 8 |
| 5. おわりに | page 10 |

1. はじめに

本ガイドは、HddSurgery™ プラッタースタンドを素早く適切に組み立てて使用するためのガイドです。

HddSurgery™ Platter Stand Tool はデータ復旧専門家が日々行っている業務をあらゆる面から強化にサポートするために生まれた製品の一つです。

本ツールは、データ復旧専門家がハードドライブアセンブリから取り外したプラッターを安全に保管および検査できるように設計されています。

本ツールは、2.5 "ハードドライブ用に開発されています。

HddSurgery™ は、このツールを通じて発生する損傷に関して責任を負いません。

HddSurgery™ は、ドライブのデータ損傷に関して責任を負いません。

2.HddSurgery™ Platter Stand Tool

2.1 概要

本ツールは、単一のベースに取り付けられ、正確に機械加工されたジョイントを使用して相互に接続された、モジュール式のマルチパートプラッター搭載サブアセンブリの形式で提供されます。すべての部品はステンレス鋼で作られているため、繊細な強磁性コーティング層の安全性を犠牲にすることなく、プラッターを保管するのに適しています。

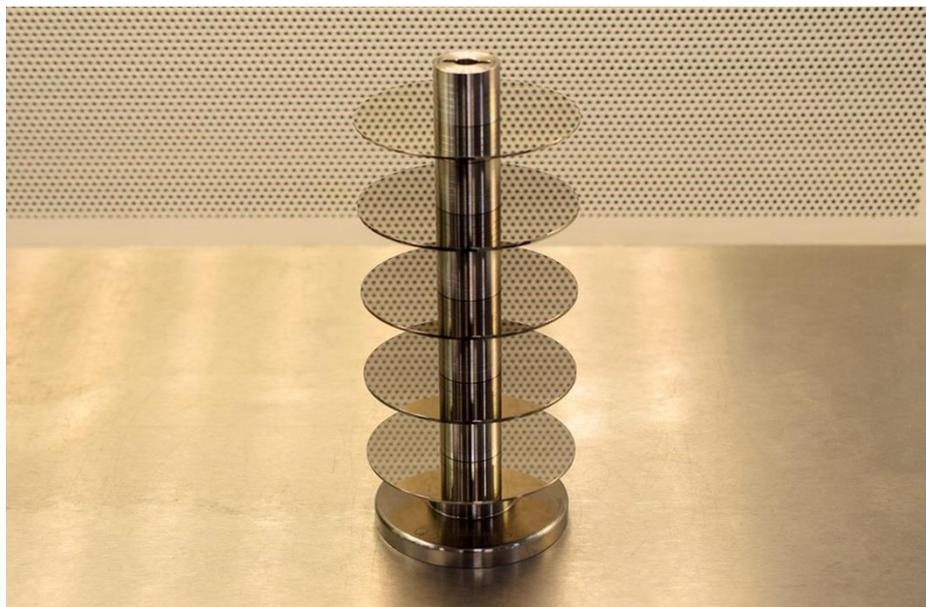


写真 2.1. プラッタースタンドツール

本ツールのメインパーツは、プラッターキャリングアセンブリ（このアセンブリには5個のアセンブリが含まれています）で、プラッターを保持し、ハードドライブアセンブリから取り外す際にプラッターを安全に取り扱うために使用されます。

プラッターキャリングアセンブリは、下部シェルと上部シェルの2つの部分で構成され、1つのネジで接続されています。プラッターキャリングアセンブリは、純粹に摩擦的/幾何学的な接続である「インサート」によって、それらの間に接続されています。



写真 2.2. プラッターキャリングアセンブリ

上部シェルにはいくつかの彫刻されたリングが付いており、これによりデータ復旧専門家による区別を助け、プラッタキャリングアセンブリに保管されているプラッターの順序を混乱させる可能性はありません。



写真 2.3. 上部シェル(左)と下部シェル(右)

2.2 パーツ構成

本ツールは、以下のパーツで構成されています。

1. ベース
2. インサート
3. 下部シエル
4. 上部シエル



写真 2.4. パーツ構成

3. ツールの組み立て

3.1 ツールを取り出す

本ツールは木製の収納箱に入っています。まず蓋を開けてベースを取り出し（ベースは互いに積み重ねられます）、次にプラッター付きアセンブリを取り出します。すべてのツールを箱から取り出したら、組み立て作業に入ります。

3.2 ツールを組み立てる

ここでは、組み立て手順を各ステップごとに写真付きで紹介합니다。組み立ての詳細は、当社ウェブページの動画を参照して下さい。

まずベースから始めます。最初のプラッターキャリングアセンブリをベース中央の穴に取り付けます。

その後、互いにプラッターキャリングアセンブリを積み重ねていきます。



写真 3.2. プラッターキャリングアセンブリを追加したベース

4. ツールの使用

本ツールは、5つの垂直層にプラッターを格納するように設計されています。各段は、単一のプラッターを格納するプラッタキャリングアセンブリです。

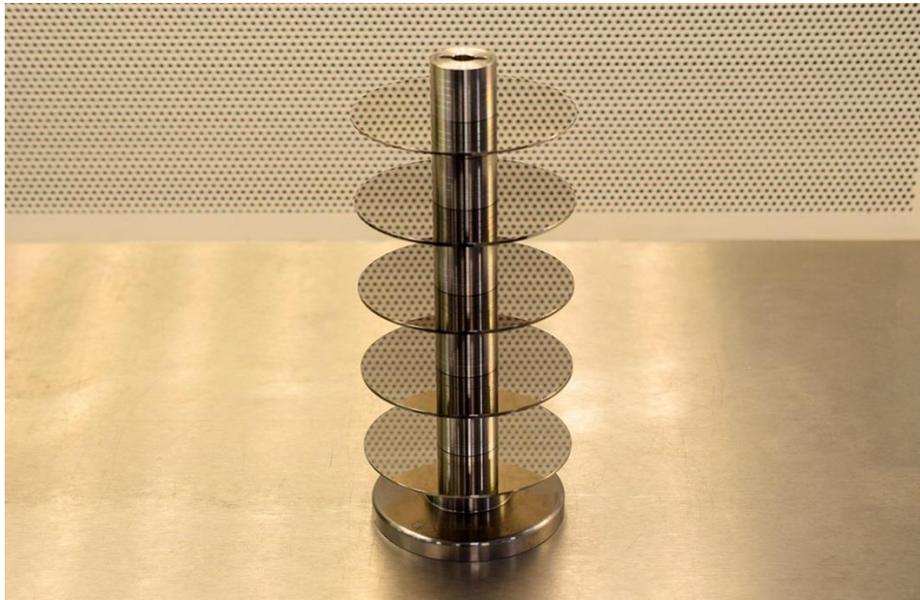


写真 4.1. HDDS Platter StandTool は 3.5"プラッター5枚を格納する

ハードドライブアセンブリからプラッターを取り外したら、注意深く下部シェルコーンの上に軽く置き、次にコーンが下になるまで滑らせます。

プラッターが下部シェルに正しく配置されたら、プラッターに触れるまで上部シェルを静かに緩めます。すべてのプラッターキャリングアセンブリに対してこの手順を繰り返します。プラッターは写真のように下部シェルと上部シェルの上に固定されています。



写真 4.2. プラッターキャリングアセンブリ内のプラッター位置

作業中のドライブのプラッターの枚数に応じて、異なる数のプラッターキャリングアセンブリ（PCA）1～5 個を使用します。すべての PCA には、ドライブ格納時のプラッターの順番を表す異なる数の行が記されています。例えば、上から 1 番目のプラッターは 1 つのカットラインを持つ PCA、2 つのカットラインを持つものは 2 番目のプラッターなどという様に両者を一致させる必要があります。

これらは互いの上に積み重ねられますが、好みに応じてそれぞれ別々に作業することもできます。これまでの経験から、プラッターキャリングアセンブリが互いに積み重なっている状態でプラッターの検査を行うことはできますが、選択したプラッターキャリングアセンブリを別のベースに置き、個別に清掃する方がはるかに簡単で安全で便利です。

プラッター底面を点検するには、ベースとプラッターキャリングアセンブリのジョイントとしてインサートを置き、プラッターキャリングアセンブリを上下逆に回してインサートの下にスライドさせます。

5.おわりに

本ガイドは、HDD Surgery™ チームにより開発、設計、テストの過程で得た経験に基づいて作成されています。HddSurgery™ は、HddSurgery™ ツールを使用または使用により生じたデータの喪失や復旧その他の損害を含め、如何なる損害に対しても責任を負いません。

本製品の詳細は、下記 Web サイトをご覧ください。

<http://www.hddsurgery.jp/>